

2015年度  
Q1決算説明資料  
2015年8月7日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 内容

## I. 2015年度Q1 連結決算概況

1. 収支の状況

P3

2. 財務の状況

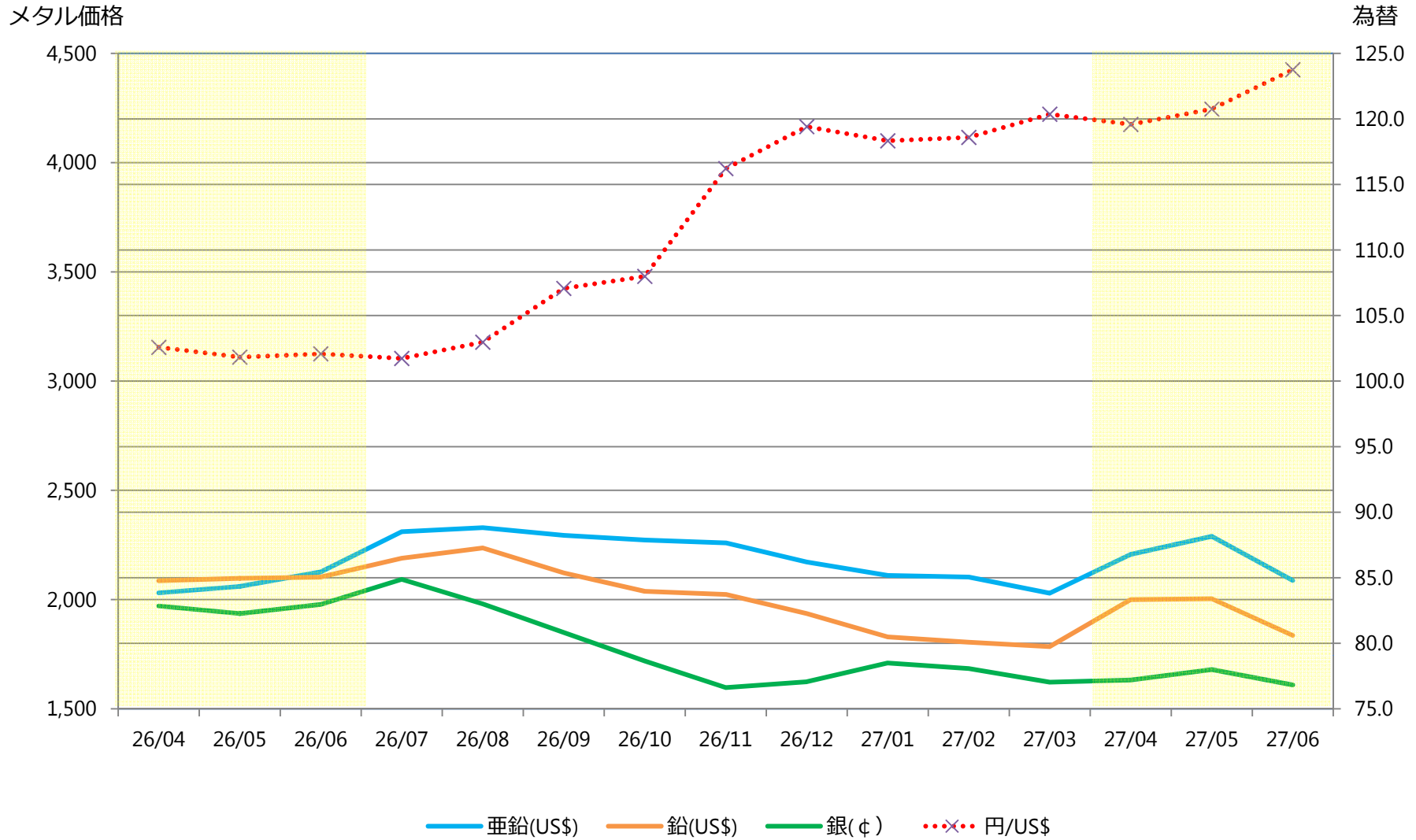
P11

## II. 2015年度 感応度

P14

# I. 2015年度Q1 連結決算概況

## 1. 収支の状況(市況推移)



# 1. 収支の状況

## ○公表比較

2015年度Q1決算においては、メタル価格は下がったものの、公表比円安・銀増販等の要因により、営業利益は30.1億円と公表比12億円強の増益となりました。

## ○前年同期比較

製錬における円安・亜鉛高、資源における豪\$安・亜鉛高により営業利益は前年同期比23億円の増益となりました。

### (1)公表ベース比較

		当初(5/12)公表	実績
市況	亜鉛(米\$/t)	2,300	2,195
	鉛(米\$/t)	2,000	1,947
	銀(米\$/toz)	17.0	16.4
	円/米\$	115.0	121.4
	米\$/豪\$(1~3月)	0.750	0.780
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	27.1	27.3
	鉛製品(千t)	23.7	24.1
	電気銀(t)	101	108
資源セグメント CBH関連(1~3月)	粗鋳処理量(千t)	300	298
	亜鉛精鋳生産量(千dmt)	29.6	30.6
	鉛精鋳生産量(千dmt)	16.4	16.8
収支	売上高(億円)	310	313
	営業利益(億円)	18.0	30.1
	経常利益(億円)	12.5	25.4
	純利益(億円)	5.5	13.4

# 1. 収支の状況

## (2)前年同期比較(市況・生産量)

		2014年度 Q1 実績	2015年度 Q1 実績	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,073	2,195	122	6	
	鉛(米\$/t)	2,095	1,947	△149	△7	
	銀(米\$/toz)	19.6	16.4	△3.2	△16	
	円/米\$	102.2	121.4	19.2	19	
	米\$/豪\$(1~3月)	0.904	0.780	△0.124	△14	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	27.3	27.3	0	0	
	鉛製品(千t)	24.1	24.1	0	0	
	電気銀(t)	104	108	4	4	
資源セグメント CBH関連(1~3月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	175	168	△7	△4
		ラスプ	133	130	△3	△3
		計	308	298	△11	△3
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	20.9	22.1	1.2	6
		ラスプ	10.2	8.5	△1.7	△17
		計	31.1	30.6	△0.5	△2
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	13.3	10.9	△2.4	△18
		ラスプ	4.5	5.9	1.4	30
		計	17.8	16.8	△1.0	△6

# 1. 収支の状況

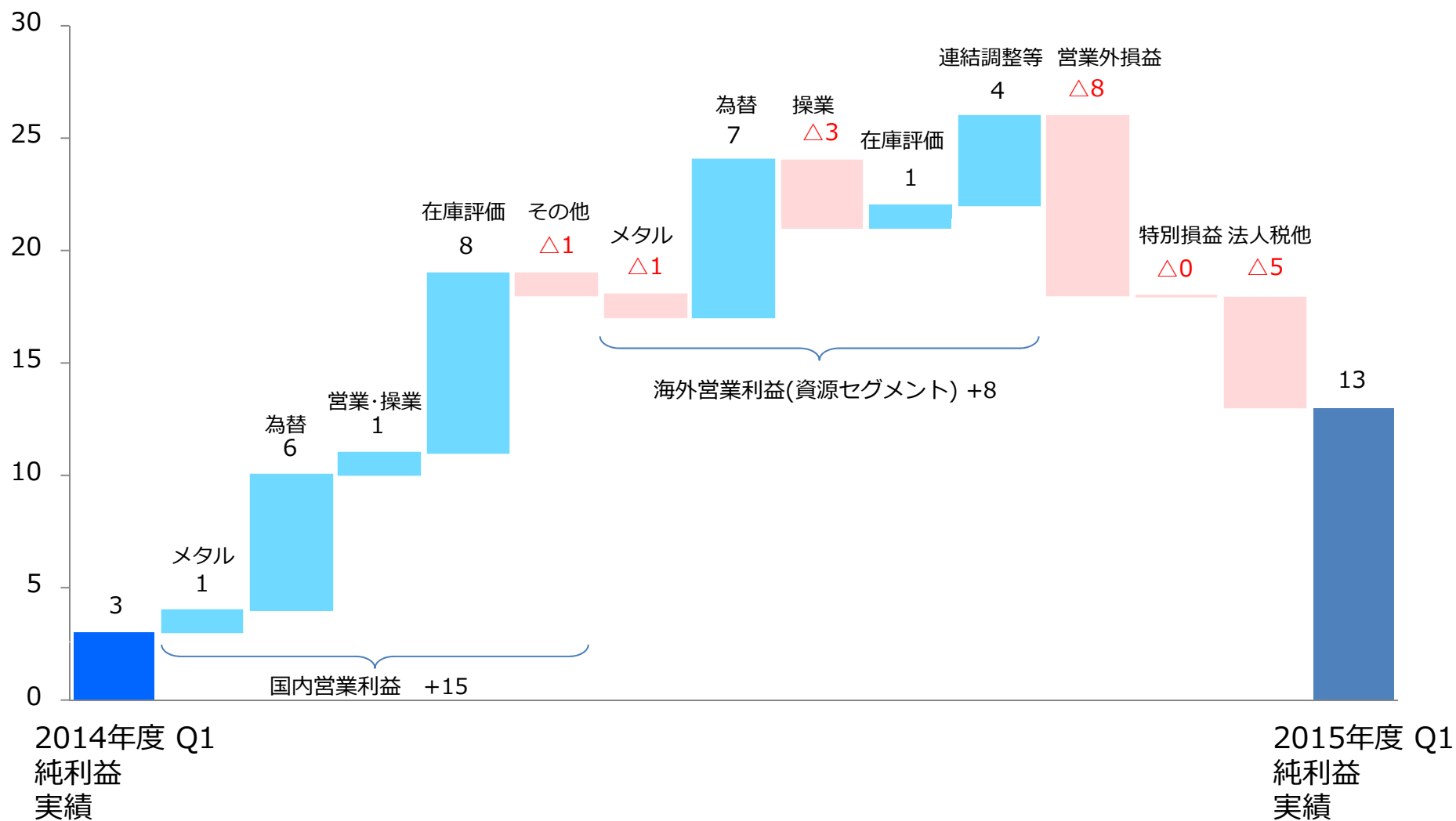
## (2)前年同期比較(収支)

		2014年度 Q1 実績	2015年度 Q1 実績	差(実額)	差(%)
売上高(億円)	製錬	189	205	16	9
	資源	38	60	22	55
	電子部材	18	17	△2	△8
	環境・リサイクル	14	17	3	20
	その他	24	14	△10	△41
	計	283	313	29	10
営業利益(億円)	製錬	6.8	24.8	18.0	264
	資源	△9.2	△1.4	7.8	-
	電子部材	2.8	2.3	△0.5	△18
	環境・リサイクル	4.6	4.9	0.2	5
	その他	2.0	1.4	△0.6	△30
	調整	△0.0	△1.8	△1.8	-
	計	7.1	30.1	23.1	327
経常利益(億円)		10.0	25.4	15.4	153
純利益(億円)		3.3	13.4	10.0	303

# 1. 収支の状況

(2)前年度比較(収支)

単位：億円



# 1. 収支の状況

## (3)四半期単位比較

2015年度		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高(億円)		313				313
営業利益(億円)	製錬	24.8				24.8
	資源	△1.4				△1.4
	電子部材	2.3				2.3
	環境・リサイクル	4.9				4.9
	その他	1.4				1.4
	計	30.1				30.1
	(内、在庫評価損益 含むヘッジ・低価法)	11.0				11.0
経常利益(億円)		25.4				25.4
純利益(億円)		13.4				13.4

(ご参考)

2014年度	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高(億円)	283	320	298	310	1,211
営業利益(億円)	7.1	24.7	27.0	10.2	69.0
経常利益(億円)	10.0	25.5	23.7	△3.6	55.7
純利益(億円)	3.3	15.6	11.5	△3.0	27.4



# 1. 収支の状況

## (4)資源セグメントの概況

当初公表比△0.4億円

⇒内、CBH社営業利益+1.5億円(内、豪\$高による市況等他律要因△0.7億円)

CBH社の精鉱生産量は公表ベース値を達成

### ①エンデバー鉱山

公表比+2.8億円(内、市況等他律要因△0.6億円)

他律要因除いても増益→歩留まり・精鉱品位の上ぶれによる

### ②ラスプ鉱山

公表比△1.4億円(内、市況等他律要因△0.1億円)

他律要因除いても減益→精鉱品位・粗鉱品位・歩留まりの下ぶれによるが、亜鉛の粗鉱品位は改善基調に入る。

利益(億円)		当初公表ベース	2015年度 Q1 実績	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	0.7	3.5	2.8
	ラスプ鉱山	△3.0	△4.4	△1.4
	その他	0.1	0.2	0.1
	計	△2.3	△0.7	1.6
*連結調整他		1.3	△0.7	△2.0
資源セグメント利益		△1.0	△1.4	△0.4

\*連結調整他:親子間決算期ずれ調整等

# 1. 収支の状況

## (4)資源セグメントの概況

前年同期比+7.8億円

⇒内、CBH社営業利益+2.3億円(内、豪\$安による市況等他律要因+5.2億円)

### ①エンデバー鉱山

前年同期比+2.0億円(内、市況等他律要因+4.0億円)

他律要因除くと減益→鉛粗鉱品位の悪化と減価償却費増加

### ②ラスプ鉱山

前年同期比+0.4億円(内、市況等他律要因+1.2億円)

他律要因除くと減益→亜鉛粗鉱品位・歩留まり悪化、マイニング費用・減価償却費増加

1~3月の生産比較では、粗鉱処理量はむしろ若干減少なるも、単価の高い鉛精鉱は高品位鉱ブレンド開始により3割増。

利益(億円)		2014年度 Q1 実績	2015年度 Q1 実績	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	1.5	3.5	2.0
	ラスプ鉱山	△4.8	△4.4	0.4
	その他	0.3	0.2	△0.1
	計	△3.0	△0.7	2.3
*連結調整他		△6.2	△0.7	5.5
資源セグメント利益		△9.2	△1.4	7.8

\*連結調整他:親子間決算期ずれ調整等

## 2. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

単位：億円

			2015年3月末 実績	2015年6月末 実績	差(実額)
流動資産	現金・預金		86	104	18
	受取手形・売掛金		160	165	5
	たな卸資産		431	438	7
	その他		25	27	2
	計		702	734	32
固定資産	有形固定資産		501	483	△18
		内CBH関係 (豪\$百万表示)	154 (157)	139 (152)	△15 (△5)
	無形固定資産		255	239	△16
		内CBH関係 (豪\$百万表示)	252 (257)	235 (256)	△17 (△1)
	投資その他		62	61	△1
	計		818	784	△35
資産 合計		1,520	1,518	△2	

## 2. 財務の状況







### (1)貸借対照表(負債・純資産の部)

単位：億円

			2015年3月末 実績	2015年6月末 実績	差(実額)
負債の部	支払手形・買掛金		67	70	3
	借入金	CP	60	90	30
		短期	169	166	△3
		長期	401	394	△7
		借入金 計	630	650	20
	その他負債		178	163	△15
	計		874	883	9
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	-
		資本剰余金・自己株式	99	99	-
		利益剰余金	252	256	4
		株主資本 計	497	501	4
	その他包括利益累計額		148	134	△15
	計		645	635	△11
負債・純資産 合計			1,520	1,518	△2

## 2. 財務の状況

### (2) 主要財務指標の変化

	2014年度 Q1		2015年度 Q1
自己資本比率	41.3%		41.8%
D/Eレシオ	1.0倍		1.0倍
純利益/自己資本 (ROE)*	2.2%		8.3%
純利益/売上高	1.2%		4.3%
売上高/総資産	0.8回転		0.8回転
総資産/自己資本	2.4倍		2.4倍

\* 年率換算

## II. 2015年度 感応度

	変動幅	2014年度試算		2015年度試算		増減	
		連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH
亜鉛	\$10/t	¥75百万	豪\$500千	¥80百万	豪\$580千	+¥5百万	+豪\$80千
鉛	\$10/t	¥40百万	豪\$360千	¥45百万	豪\$450千	+¥5百万	+豪\$90千
円/米\$	1円/米\$	¥85百万	-	¥100百万	-	+¥15百万	-
米\$/豪\$	1%	豪\$2百万	同左	豪\$2.7百万	同左	+豪\$0.7百万	同左